

埠頭監視カメラ整備等経費

財務省関税局

2024年 6 月11日

埠頭監視カメラ整備等経費

税関の3つの使命

安全・安心な社会の実現

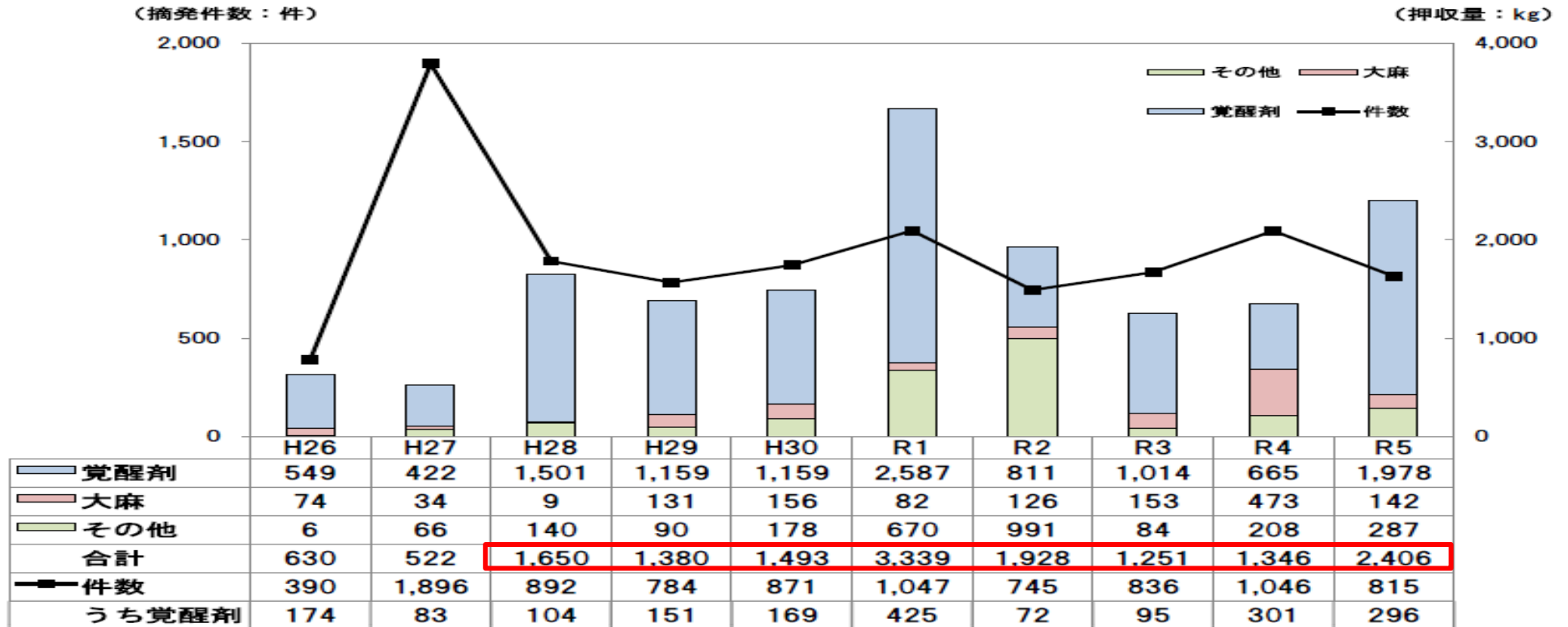
適正かつ公平な関税等の賦課徴収

貿易円滑化の推進

令和5年の関税法違反事件の取締り状況

- 不正薬物全体の摘発件数は815件、押収量は約2,406kg。
- 押収量は8年連続で1トンを超え、過去2番目を記録し、極めて深刻な状況。

不正薬物の摘発件数と押収量の推移



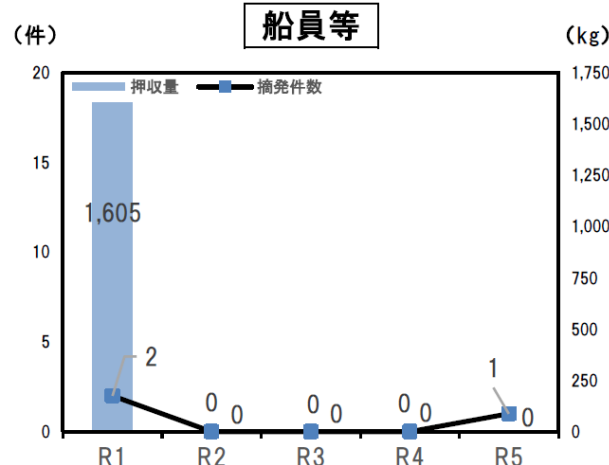
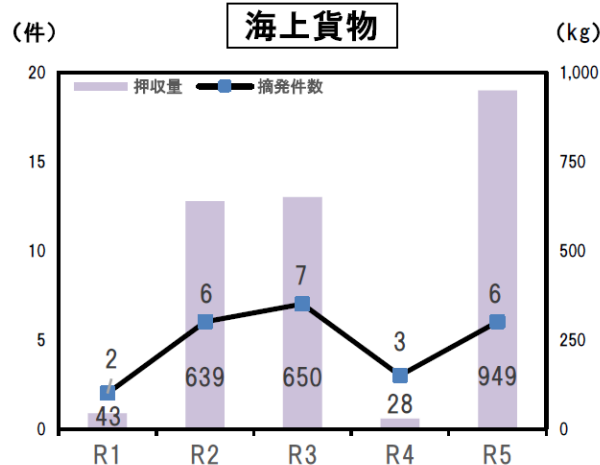
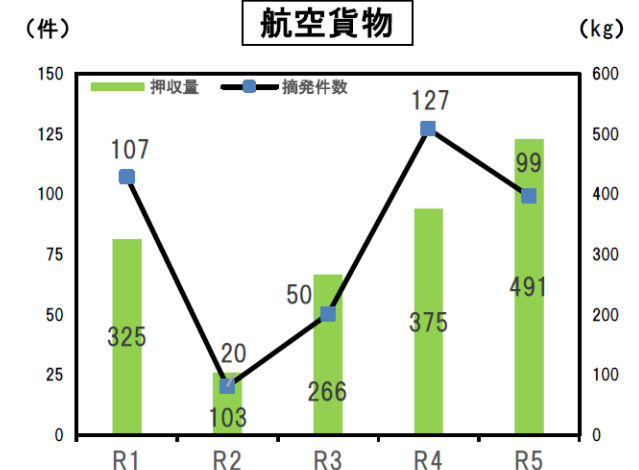
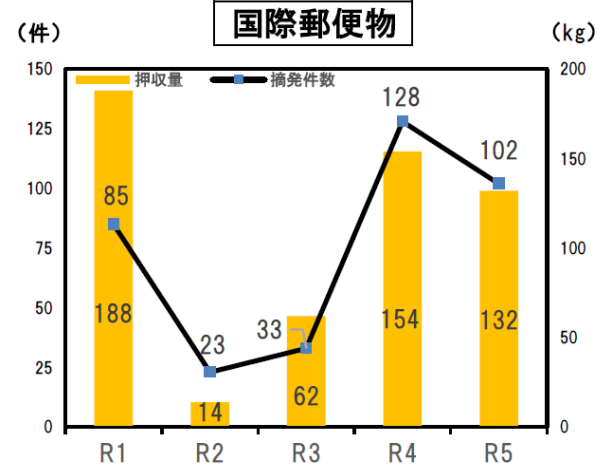
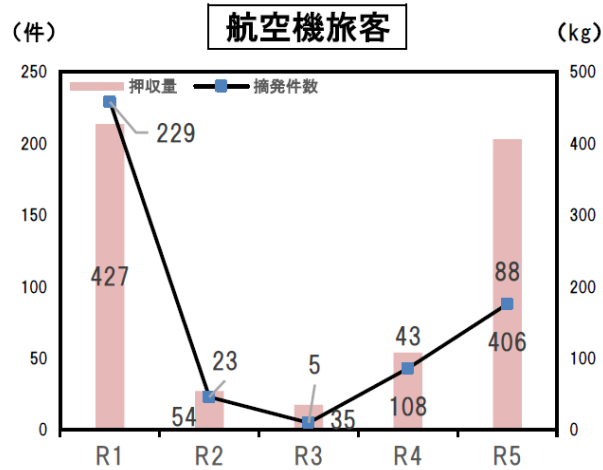
(注) その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。令和5年の数値は速報値。
令和元年は、平成31年1月から令和元年12月を示す。以下同じ。

埠頭監視カメラ整備等経費

令和5年の覚醒剤の取締り状況

- 押収量は約1,978kg。薬物乱用者の通常使用量で約6,593万回分、末端価格にして約1,226億円。
- 密輸形態別の押収量では、海上貨物が約949kg、航空機旅客が約406kgとなり、前年度より大幅に増加。

密輸形態別の摘発件数と押収量の推移



(注)

航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客等を含む。

航空貨物には、航空での別送品を含み、海上貨物には、海上での別送品を含む。

埠頭監視カメラ整備等経費

主な摘発事例

【事例1】海上貨物 《海上貨物で過去最高の覚醒剤押収量》

アラブ首長国連邦から到着した海上貨物（PVCボード）に隠匿された覚醒剤 約704kgを摘発した。

（令和5年3月・東京税関）



【事例2】海上貨物

カナダから到着した海上貨物（メープルシロップ）に隠匿された覚醒剤 約116kgを摘発した。

（令和5年6月・横浜税関）



【事例3】外国貿易船

三河港（豊橋）に入港した外国貿易船の船底にある海水取入口に隠匿されたコカイン 約178kgを摘発した。

（令和元年8月・名古屋税関）



【事例4】海上貨物

ブラジルから到着した海上コンテナ貨物に隠匿されたコカイン 約400kgを摘発した。

（令和元年10月・神戸税関）



埠頭監視カメラ整備等経費

事業概要

- 不正薬物や銃砲等の社会悪物品や大量破壊兵器等のテロ関連物品等の密輸リスクの高い要注意地域を仕出地とする船舶の入港実績が多い港等へ配備している。
- 貨物の積卸し状況、乗組員や訪船者の乗下船及び物品の授受等の動向把握を行うために活用している。



埠頭監視カメラ整備等経費

論点

①アウトカムに係る各指標について、本事業の効果を検証する観点から適切なものとなっているか

- ▶本事業に係る活動状況の効果の検知ができるように、短期アウトカムでは非違発見件数を、長期アウトカムでは覚醒剤の国内全押収量に占める水際押収量の割合を指標に設定している。
- ▶非違発見件数及び水際押収量の割合をアウトカムに設定することにより、税関の使命である「安全・安心な社会の実現」などを旨とするといった目的意識のもとに取り組んでいる。

【短期アウトカム】

目標：前年度より向上させる

指標：埠頭監視カメラによる非違発見件数

- ・埠頭監視カメラを活用したことによる申告外物品の発見や不正薬物の摘発実績が含まれており、本事業の目的である「効果的な水際取締り」、「適正な通関」に寄与するもの。



【長期アウトカム】

目標：過去5年の平均より増加

指標：不正薬物の水際押収量の割合（不正薬物のうち覚醒剤）

- ・国内で乱用されている不正薬物のうち、覚醒剤については、そのほとんどが海外から密輸入されたものであるところ、埠頭監視カメラの活用等を通じて、税関においてより多くの密輸を阻止できているものと類推される。

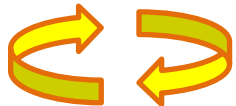
②埠頭監視カメラを効果的・効率的に配備し、水際取締りに活用できているか

【適正配備】

- ▶密輸リスクの高い要注意地域を仕出地とする船舶の入港実績が多い港等へ配備

【主な活用方法】

- ▶監視司令室における複数岸壁の集中一元監視
- ▶機動班との連携による検問・検査



取締レベルを維持しつつ、コスト削減を実施。

【主なコスト削減の取組】

- ▶可能な限り再リースを活用 ⇒ 継続的なコスト削減を実現
- ▶設置場所に応じたカメラの選択 ⇒ 多彩なスペックのカメラの導入（過剰スペックの排除）

埠頭監視カメラ整備等経費

政策評価との関係

令和5年度財務省政策評価書（案）における政策目標

政策目標5－3

関税等の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関手続における利用者利便の向上

施策 政5-3-2：社会悪物品等の密輸阻止

定量的な測定指標（目標値）：不正薬物の水際押収量の割合（過去5年の平均より増加）〔政5-3-2-A-1〕

定性的な測定指標（目標）：密輸事犯に対する厳格な水際取締りの実施（国際貿易における秩序維持を図るため、社会悪物品等に対する厳格な水際取締りを実施する）〔政5-3-2-B-1〕



【本事業と政策評価との関係】

上記測定指標には、埠頭監視カメラを活用したことによる不正薬物の摘発実績が含まれており、本事業は「施策 政5-3-2：社会悪物品等の密輸阻止」に寄与している。

※政5-3-2については、「目標達成」との評価見込みとなっている。

参 考 資 料

スマート税関の実現に向けたアクションプラン2022の新規施策

1. 新たな環境変化

新規施策

(1) 国際的な商流・物流の変化

越境電子商取引（EC）の拡大による
輸入小口急送貨物の急増

▶ 急増する輸入貨物への対応

(2) 新たなニーズの出現

①輸出取締の適正化

▶ 経済安全保障への対応
▶ 出国旅客に対する取締体制の検討
(1)輸出物品販売場制度の適正執行に向けた取組
(2)FATF勧告を踏まえた取組

②輸入手続の円滑化

▶ 知的財産侵害疑義物品に係る認定手続の更なる簡素化
▶ 業務通関における納税環境の更なる整備

③保税地域の活用

▶ 経済活性化のための保税地域の活用

④国際協力の推進

▶ 戦略的な関税技術協力への取組

⑤デジタル化への対応

▶ 貿易手続等のデジタル化への対応
(1)貿易情報のDX化への対応
(2)税関の保有するビッグデータの一層の利活用
(3)原産地証明書のデータ交換に向けた取組

(3) 技術の進歩

密輸手口の巧妙化

▶ 新たな技術や機器を活用した審査・検査の効率化等
(1)空港・港湾施設等への先端技術を活用した機器等の円滑な導入
(2)税関検査場のDX化に向けた取組
(3)X線CT装置によるAI及び物質識別を活用した不正薬物検知の調査・研究
(4)スマートグラスを活用した審査及び検査等の効率化
(5)水中ドローンの活用可能性の検証

2. 新たなニーズ・シーズの把握

新たなニーズ・シーズの発掘

▶ 意見交換等を通じたニーズ・シーズの的確な把握
(1)関係団体との意見交換の充実
(2)WCO・外国税関等との情報交換の拡充

1. (3) 技術の進歩

密輸手口の巧妙化

新規施策⑫

空港・港湾施設等への先端技術を活用した機器等の円滑な導入

各空港・港湾における物流の円滑化、業務効率化や、水際取締りの更なる充実化・効率化の観点から、先端技術を活用した機器等の導入や、検査のデジタル化を進めていきます。

取組

- 先端技術を活用した機器等の円滑な導入等を図るための関係機関との連携強化
- 税関施設等の計画的な整備に向けた連絡調整体制を構築



新 規																継 続				進 捗					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	S	M	A	R	T	S	M	A	R	T

より多くの職員が自宅の端末から税関システムに接続することができるよう、当該機能の改善を図り、接続可能な端末の数を増やすなど、テレワークの環境を強化します。また、電子的に保存されていない書類を電子化し、自宅等からの必要な情報へのアクセスを容易にするなど、テレワークにおける業務効率の向上に努めます。

取組

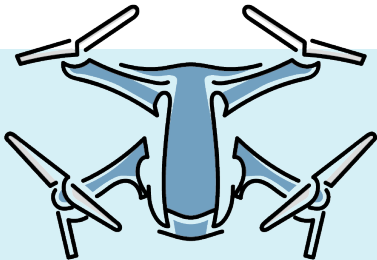
- テレワーク環境の整備



海岸線等における監視取締りについて不断の工夫に努めるとともに、無人航空機（いわゆる「ドローン」等）といった先端技術や衛星情報について、その技術の進展状況や国内外の関係機関における活用状況等に注視しつつ、これらの技術を活用した監視取締りの高度化・効率化について検討していきます。

取組

- 衛星情報の活用
- ドローンの活用を検討（固定翼型等のドローンの検証含む）
（2022年7月以降に新たに取組むこととした事項）



新 規																継 続				進 捗					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	S	M	R	T	S	M	R	T